



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和5年1月18日
第20号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

明けましておめでとうございます

保護者、地域の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

冬休み中、大きな事故やケガ等もなく、第3学期始業式で子どもたちの元気な姿を見ることができ、嬉しく思いました。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の心配が続いておりますので、今学期も学校全体で予防に対する緊張感を継続させていきたいと考えております。

さて、第3学期は51日間で、1年で最も短い学期ですが、学習・生活等、学年のまとめをしながら、進級・進学に向けた心構えをもつ大切な学期となります。

子どもたちには始業式で、「夢や目標、がんばること」を決めて、それに向かって努力することの大切さを伝えました。子どもたちのひとみがこれまで以上にキラキラと輝くよう、教職員一同尽力していきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



さすが二小の子どもたち～めあて発表～



自らの意思で動き出すことを大切にしている二小において、なりたい自分の姿を思いえがく過程は特に力を入れています。そのために、新学期が始まり、どの学年でも時間をとって各自のめあてを立てました。そして、1月16日(月)の全校集会は、各学年代表によるめあての発表を行いました。

「算数の文章問題を得意にしたいです。そのために、自主学習をするように～」 「1年生に優しくしたいです。なぜかという、感謝されると～」。6人それぞれの発表に、めあてづくりに大切な言葉がたくさん入っ

ていました。発表の仕方も力強く堂々としており、「きっとこのめあてに向かってがんばっていくことができるはず」という頼もしさを感じました。

今年度は、代表で発表する児童がいつもすばらしい態度と内容で話すことができ、それを聞いている子どもたちも自分が発表する時にがんばるといふよい流れができていて、感心しています。さすが二小の子どもたちです。

大人も子どももDX

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、直訳すると「デジタル変革」という意味で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をよりよいものへと変革することを指します。

二小では、第3学期より配付文書のコードモン一本化をスタートしました。毎年紙で実施していたスキー教室アンケートもコードモンにて行いました。そして、この「磐二小だより」も今号よりコードモン配信としました（スマホでも読んでいただけるようにフォントを変え、ポイントも大きくしてみました）。まだ劇的な変化ということはありませんが、いずれは便利さや、ペーパーレス化による「エコ」ということにつながっていくのだと思います。

そのような中、4年生が総合的な学習の時間に面白い挑戦をしました。磐梯町の魅力について大人の人たちはどう感じているのだろうかという問いをもち、自分たちでGoogleフォームというアプリを使ってアンケートを作成し、二小ホームページのブログにはって意見を募りました。1月17日（火）の時点で30名近くのご回答をいただき、子どもたちも大喜びでした。

内容としては、いかにも4年生が作ったという初歩的なものに見えますが、自分たちの力で作り上げたということが貴重であり、この経験はきっと次につながります。デジタル技術を使うことで新たな可能性を見出す、まさにDXの取組となりました。

なお、4年生のアンケートは1月20日（金）までご意見を募集しています。回答者の情報を伝えることなく気軽に（数秒で）回答できます。子どもたちの笑顔のためにも、たくさんの皆様のご回答をよろしくお願いいたします。（ホームページブログ欄よりお入りください）



二小ならではの休み時間の楽しみ そり滑り



5年生スノーシューハイク（磐梯青少年交流の家）



校庭でのスキースキーの授業（現在は雪不足でなかなか実施できていません）



1, 2年生だんごさし